

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立浜北特別支援学校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	283人				

1. 使用状況

寄贈物品名	レーザー加工機
使用学年及び人数	高等部作業学習工芸班 18人
使用頻度	週2回程度
使用状況	<p>高等部工芸班の作業学習で週2回1時間程度使用している。工芸班では、生徒が自分で操作して使用できるようにタブレット端末から出力できるように設定した。教師の助言を受けながら、自分で考えて模様付けや加工、切断に使用している。</p> <p>また、作業製品販売会では、ポップの作成時に活用して店作りを行った。</p>
物品の使用による 変化や効果 ※ 1年目との違いを 含めご記入ください。	<p>1年目にレーザー加工機の操作方法を覚えるとともに、その良さを実感することができた。1年目の後半からは生徒自ら考えた文字やデザインを使って作成することが増えた。自ら考えたデザインをタブレット端末か出力し、レーザー加工機で製品にすることで、より製作意欲が向上した。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>現在は、主に製品作りで使用しているが、肢体不自由の生徒などがタブレット端末で描いたデジタルアートを模様にするなど製品作り以外でも使用していきたい。また、美術作品のキャプションや校内表示などの整備の一環としても活用していきたい。</p>
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子



操作が簡単で生徒自ら準備をすることができます。



タブレット端末の操作で出力しています。



お店作りでポップを作成しました。